

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとば6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:https://ksvk.jp/
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◆「平成」時代のボラ協を振り返る 2~3P

北九州市障害福祉ボランティア協会

理事長 岡田 和敏

◇ドコモショップ 4P

戸畑中央店における障害支援サービスの取組について

丸山 奈保子

◆ボランティア物語 100【最終回】 5P **好評連載中!!**

「蟻の百歩」

宮崎 浩

◇福祉のまちづくりネットワークプロジェクト 5P

リレーレポート⑩

「そこに整備される理由」

北九州市身体障害者福祉協会 事務局長 松本 大史

◆MYフレンド 6P

ボランティア物語 最終回を迎えて 宮崎 浩

◇「あたらイイね!こんなトコ」 7P

ホテル アルモニーサンク

◆協会カレンダー 8P

座標軸

この冬、インフルエンザが猛威を振りました。皆さんは大丈夫だったでしょうか。病院によっては外来の患者だけでなく入院患者自身が罹ってしまい入院を待つ患者の受け入れすらままならないところもあったようです。

ニュース番組の一つでは、感染予防のためマスクをしたまま一日50人以上もの患者を診察されている医師の姿がことの大変さを物語っていました。

そんな中、アナウンサーが言った言葉にハッとさせられてしまいました。「聴覚障害の方から、先生がマスクをされているので口の動きがわからず何を言われているのかが理解できず困った」と言う言葉がありました。

インフルエンザ患者が多くなっていることを知らされると大流行しているまではわかりません。しかし、聴覚障害の方からのこの意見はどのように受け止めるべきかを考えてしまいました。

よく「当事者目線で」と言われることがあります。先生を責めているわけではありません。多くの患者を診なければならぬための対策だと思えます。

ただ、受付の段階で患者側がどれだけ口話の必要性を伝えたのか、伝えたとして先生に正しく伝わっていたのか、患者は先生に遠慮をしてみましたのにもよります。先生に障害のことがどれだけ伝わったかだと思います。ハッとしたのは、聴覚障害の方の言葉で気付かされたことです。ごく当たり前のことです。その人に配慮することが「当事者目線」なのかも知れません。(K・O)

「平成」時代のボラ協を振り返る

北九州市障害福祉ボランティア協会 理事長 岡田 和敏

政府は4月1日午前の臨時閣議で「平成」に代わる新しい元号を「令和(れいわ)」に決めました。天皇陛下の退位に伴い5月1日午前0時から新元号「令和」に切り替わります。平成は、1989年1月8日からの30年4カ月で幕を閉じることになりました。

昭和57年5月16日に発足した北九州市障害福祉ボランティア協会(以下「ボラ協」)は、今年で38年目になりますので、発足して7年ほどで平成の時代を迎えました。平成元年の前の昭和63年には、任意団体から社団法人に、そして平成23年には公益社団法人へと衣替えをして現在に至っています。

増加する高齢者に向けた「高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略」(ゴールドプラン)の産声からはじまったように思えます。今日までの間に、行政主導の政策で次々と進められ、高齢者、子ども、障害者に関する政策はめまぐるしく変化しました。記憶の中に今でも画期的だと思えることの一つに、平成2年、「老人福祉法等の一部を改正する法律」による福祉関係八法改正が行われ、福祉政策全体の方向転換が図られることになったことがあります。

平成はゴールドプランとともに始まった

平成の時代は「消費税」と

つまり、施設への入所を中心とした福祉サービスから利用者が自立した社会生活を送ることが出来るようにする在宅福祉の充実を目的とし、施設・在宅サービスの申請から決定までをかつては県の福祉事務所が申請から

審査、そして決定すると云った措置権を住み慣れた市町村に移し(北九州市は政令指定都市なので対象外)、貫したサービス提供がなされることになったことは非常に重要な転換点であり障害者にとつても衝撃的な変革になったと思います。

在宅福祉に呼応して十分とは言えずともホームヘルパーをはじめとする公的サービスが次々と整備され、今では当たり前のことが始まりを迎えたことは「自立」を可能にする時代へと展開したものと理解できます。

同じく平成元年には、北九州市地域福祉振興基金「ひまわり基金」が設置され、北九州市社会福祉協議

会の中に「北九州市ボランティアセンター」が設立されました。

ボランティア活動の推進のために行われた北九州市のこれらの整備の過程では、先行して活動を開始していたボラ協の方向性を明確にせざるを得ない選択を迫られることになりました。

つまり、新しく整備されるボランティアセンターと一体となって活動するか、障害福祉に拘ったボランティア活動の中間支援団体としての路線を選ぶのかということでした。

理事会の中では意見が分かれましたが、民間性を失いたくないというボランティア活動者たちの声と障害福祉に拘りたいという当時の障害当事者のリーダーたちの声に押されて、全国で「箇所しかない」障害福祉ボランティア協会」として社団法人化したという経緯があります。

平成の始まりは、ボラ協

がその後の方針を定めて、新たに歩き始めた時でもあったのです。

ふうせんバレーの誕生



また平成元年には、平成2年に福岡県で開催される第45回国民体育大会「とびうめ国体」の同じ年に開催される第26回全国身体障害者スポーツ大会「輝きのとびうめ大会」が開催され、市内の障害者団体・ボランティア団体が実行委員会を結成し、『89北九州障害者ふれあいスポーツフェスティバル』が開催されました。

このイベントにボラ協も多くのボランティアと一緒に関わり、啓発関係等を担当

しました。

その結果、イベントで一緒に活動した新しいメンバーがボラ協に加入し、活動が活発になった時期でもありました。

また、障害のある人も無い人もともにスポーツを楽しめる「ふうせんバレーボール」の競技をみんなで考案して、第一回全国大会と銘打って開催したのも、平成2年のことでした。

措置から契約へ

平成に入ってから障害福祉の世界はめまぐるしく変化しました。

「地域で共に生活するために」「社会的自立を促進するために」「バリアフリー化を促進するために」「生活の質(QOL)の向上を目指して」「安全な暮らしを確保するために」「心のバリアを取り除くために」「我が国にふさわしい国際協力・国際交流を」を骨子とする「障害者プ

ランノーマライゼーション7ヶ年戦略」が策定され具体的な数値目標を示す計画が立てられました。

更に展開して、平成15年にはサービス提供事業者と利用者が対等な関係をもち契約を行うことでサービス利用する方式として「支援費支給制度」が開始されることになりました。正しく障害者の自己選択・自己決定を前提としたノーマライゼーション実現を目指すものとしてスタートしました。しかし、地域格差などサービス量の違いにより「自立支援法」へと転換していくことになりました。

過去から現在への架け橋

ボラ協は発足当初からの方針としていた「ともに生きる」社会づくりを目指して活動してきました。遅々として進まなかつたノーマライゼーションへの道が次第に現実、確実なものへと変転

して行く中で、「共生社会」を目指す上で障害差別を解消していかなければならないことから平成28年4月から障害者差別解消法が施行され翌29年には本市でも「障害者差別解消条例」が全面施行されることになりました。

多年に渡る苦労の上に、意識の変化、枠組みの変化がなされたことを思う時、平成の30年の時間は過去から現在への架け橋として築いてきた二時代であったと考えます。

ADL支援から QOL支援へ

ボラ協は昭和の時代から平成の時代へとその内容を変化させながらボランティア活動を継続させてきました。かつてのホームヘルプの活動はヘルパー制度の充実とともに制度の隙間を埋める活動へと変化してきました。

かつて主流だった障害のある人のALD(食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動)の支援活動は、QOL(生活の質)の向上、つまり、自分らしい生活を楽しむための支援活動に変わってきました。ボラ協の具体的な活動で言えば、IT活用支援や余暇活動支援、また当事者団体の活動を下支えする各種事務局(担当事業などがそれぞれに当たります)。

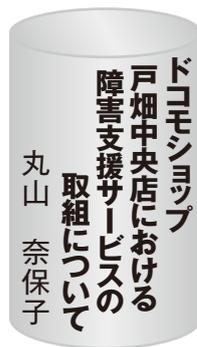
共生社会へ向けて 地域を耕す!

桜の便りがチラホラと聞こえ始めた3月27日に「あひる小倉南ブロック」の「最後の例会」が行われました。

ボラ協の設立に加わり、その後のボラ協の中心メンバーで地区別に活躍してきた「あひる」ですが、戸畑、若松、小倉北区、門司区と既に活動を停止してきていた中での小倉南ブロックでした。それぞれに年齢を重ね、今後の活動の仕方を考える中で二つの区切りをつけたということ、解散することを決めたということでした。また二つ、「あひる」が消えることに一抹の寂しさは感じましたが、皆さんのお話しを聞いてみると、近隣の方々へちょっとしたお手伝いを続けてこられていたというところで、それぞれの方たちが地域の中での助け合いを実践されている様子をうかがい、ボラ協が求め続けている理想の最先端の活動をされていることを知りました。それぞれの地域で「地域を耕す」活動を地道にやられていく様子は頼もしい限りです。



「令和」の時代のボラ協は、現在実施している活動に加え、地域を耕す地道な活動にも、もっと力を注いでいけたらと思っています。



今年の2月に障害者IT支援研修会&意見交換会を開催しました。

その研修会に参加していただいたNTTドコモの丸山さんに、障害支援サービスの取組についてお話ししていただきました。

現在、ドコモショップ戸畑中央店では、主に視覚に障害のある方、ガラケーまたはスマートフォンにおける音声読み上げ機能等、お客様がご希望の機能や機種のご提供、提案を実施しております。iPhoneであればボイスオーバー機能が、ご利用されている方の中には私たちよりも詳しい方もいらっしゃいます。また、らくらくホンであれば音声読み上げ機能があり、そのらくらくホンをご利用されている方もまだまだ多くいらっしゃると思います。現在発売中のFOMA契約ではないらくらくホンや、

iPhoneシリーズにも多数取り揃えており、少しでも視覚に障害がある方へのお力添えが出来ればと考えております。

これまでも、視覚障害者団体との繋がりでウエルとばたや、黒崎のコムシテイでのイベントに参加させていただき、参加された皆様のケータイへの関心に大変驚きました。



今後、そのようなイベントがあれば、ぜひ、お声をかけていただきたく思っております。出張でのスマホ教室なども実施を考えております。また、皆様のケータイ、スマホ生活のお手伝いが出ればと考えておりますのでお時間の都合が付けば、ぜひご来店下さい。料金診断など、スマホでの悩みは全力で解決させていただきます。

第38回 定期総会のお知らせ

ボランティア協会の明日を決める大事な総会です。
正会員の方でなくても、ぜひご参加ください!

日時 令和元年5月25日(土)

時間 14時30分～16時30分

・事業報告・決算、事業計画・予算
・福祉講座

会場 ウェルとばた 研修室6AB
(戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階)



広告



SKC 会計グループ
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
<http://www.sakaieiei.co.jp/>

株式会社さかい経営センター 株式会社SKC計算センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

宮崎浩さんは、当ボランティア協会の理事です。
このコラムは、宮崎さんの体験を通した思いをつづったものです。

ボランティア物語
-100-
(最終回)

蟻の百歩 宮崎 浩

沖繩ぶらり一人旅。昨年は、テント生活で雨にさらされ大変な目にあつたので、今回は、軽ワゴンをレンタルして荷台に寝室を作り、公衆トイレのある駐車場で車中泊。またもや、雨に打たれたけれど三泊四日、快調に島を巡つた。
昨年の旅の目的地は普天間。今回は辺野古。基地のことをもう少し知りたいたい、浜辺にある青テント村に足を運んだ。
辺野古基地の全容について説明を受けた。どんな基地が造られているのか。本当に必要なのか。絶滅するサンゴ礁。産卵の場を失くしたウミガメ。ジュゴンはどこかに消えた。
青い海を濁す埋立ての土は、本土から運ばれてくる。北九州は門司からも。生態系の破壊なんて考えられてもいない。
地下断層に軟弱地盤。いつ基地ができるのかもわからない。
その間、建設費用も高騰する。沖縄県の試算では、2兆円を超えるとも。

これらは全部僕らの税金だ。小型ボートで埋立て現場近くまで連れて行つてもらった。
どこまで走つても海は透き通り海底まで手が届きそう。
異様な光景は、およそ7キロに渡つて張られているオレンジ色のオイルフェンス。そして、このオイルフェンスを10艇以上のカヌーに乗つた人たちが越えようとしていた。
すると、海上保安庁の警備艇から「ここは制限区域です」と大音量での連呼が始まり、フェンスを越えた人たちは、次々と拘束されていった。
基地建設を阻止する抗議活動だと聞いた。僕は、称賛も非難も、言葉すら出なかった。
「象に蟻たちが挑んでいる」ただ、そう思い描くと、これはボランティアも同じで、僕も蟻の一匹だと思えてきた。
象に蟻一匹ではかなわない。でも、数万匹と集まれば、きつと何かが変わるはず。
このコラムも百回目を迎えた。蟻の歩は見えないけれど、百歩の歩みは見えてくる。
※今回を持ちましてボランティア物語は終了いたしました。ご愛読ありがとうございました。

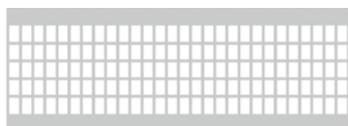
福祉のまちづくりネットワークプロジェクト

「そこに整備される理由」

北九州市身体障害者福祉協会 事務局長 松本 大史

障害のある人に配慮されたものには、そこに整備されるべき理由があります。

雨水を逃がす網目状の排水のフタ(グレーチング)の幅が広いと、車いすの前輪や視覚障害の人が持つ白杖がハマつて危険だから、グレーチングの幅は狭いものでなくてはいけない、など。



↑排水のフタ(グレーチング)

「法がスタートして以来、道路や建物の工事におけるバリアフリーのある程度の基準が示され、施工業者はその基準に沿つて道路、建物の整備を行なっています。」

しかし、基準に沿っていれば、それだけでいいのかというと、

そうではありません。

基準通りに工事を行なつても、そこに整備される理由を知らないまま施工業者が工事を行えば、結局利用者にとって使いづらいものになってしまうこともあるのです。

例えば、多目的トイレで、基準に沿つて手すりを設置したけど、手すりとの壁の間にペーパーホルダーが設置され、手すりを持つて立ち上がるにもホルダーが邪魔をして力が入らない。また、駅のホームに設置されたホームドアの外側にだけ点字ブロックが設置され、ホームの内側を視覚障害の人が一人で移動できず、せつかく敷いたブロックの意味がない。

なぜ、何のために整備するのか、その理由を知らなければ、こういった事態が発生します。後でやり直すことほどもつたいないことはありません。「そこに整備される理由」もつと大事にするべきではないでしょうか？

広告

明るく・元気に・前向きに!困ったときはお互い様

業務内容

資料の電子化・データ処理・ホームページ作成・アクセシビリティ検証・企画・デザイン・印刷各種・各種コピー・大型カラー出力・安全標識作成

障害者と共に生き活きと働ける職場づくりを実現するため、日々頑張っています!

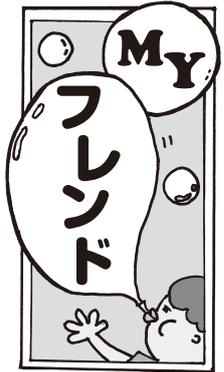
三菱ケミカル株100%出資特例子会社
化成ボランティアサービス株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1

TEL093-643-4390 FAX093-643-4393

http://kfs.mc.co.jp





今回のマイフレンドは2度

目の登場ですが、「でんしょ鳩」の「ボランティア物語」をずっと担当して下さっている宮崎 浩さんです。「ボランティア物語」は百回を迎え、最終回となりました。

— ボラ協での担当は —

今はでんしょ鳩のボランティア物語を担当しています。今回で百回になります。連載して約十六年長いようであつたという間でした。自分の思いを世に出せる場であり知らない人にも読んでもらつていて感謝しています。できたらボチボチ卒業したいのですが…。

— ボランティア活動の

きつかけは —

高校生の時バンドをやっていたのですが、高二の時、彼女に誘われて「わたぼうしコンサート」を観に行き、訳もなく号

泣してしまいました。障害のある人に会ったのも初めてでした。これがきつかけになり福祉系の大学に行こうと勉強に目覚めました。人生が変わった瞬間でした。

— 卒業後は —

大学のゼミの先生が保田井進先生(ボラ協 初代理事長)と旧知の仲だったこともありボラ協に就職しました。これも何かの縁と感じました。勤めてから初めて携わったのが高校生ボランティアの育成でした。そこで高校生サークル「のぼら」を担当しました。現在も活動は続いていて、災害時支援や清掃活動などに参加しています。一緒に活動している大人たちを見て彼らに何かを感じてくれたらいいなと思っています。「のぼら」の卒業生が福祉の仕事に就いていたり、親となり、その



宮崎 浩さん

子どもが「のぼら」に入会していたりするのが嬉しいです。また、ボラ協では、車いすを押して「晩中歩いたり、皿倉山に登ったり、門司港駅でゴスペルを歌ったり、いろいろな活動をして楽しかったです。これらの活動をを通して知り合った人とは今も交流があります。

— ボラ協退職後は —

救護施設に二十一年、保育園に三年、今は養護老人ホームに勤めています。戦中、戦後のすごい時代を過ごしてこられた方々からの話を聞くことでこちらが人生勉強をさせてもらっています。

— 仕事以外の活動は —

十七年前に北九州市立大学の先生と「のぼら」の卒業生とで「NPO法人チャイルドライン北九州」を立ち上げました。電話を通して子ども

もたちからの話しを聴く活動を運営しています。フリーダイヤルですので全国から雑談や深刻な悩みまでいろいろな電話がかかってきます。今の子どもの状況は、私たちが知らないことが多くて専門の講師を招いて勉強会を定期的に行っています。これからは、電話だけでなくメールやチャットも取り入れていかなければと思っています。

— 趣味は —

集中し、余計なことを考えずに楽しめる料理が好きです。そこでストレスも発散しているようです。また、メンバー九人でゴスペルを歌っています。結婚式や各地のイベントでライブをしています。ご用命がありましたらご連絡ください。他にも、山歩きや釣り、キャンプにも出かけています。最近、一番はまっているのが、沖縄入旅です。またゆっくり行きたいです。

聞き手 森山 幸恵

【広告】

損害保険・生命保険から年金まで各種保険のトータルプランナー

- リスクマネジメント業務
○防犯・防災・防護 取扱
○機械警備システム 取扱
○危機管理セミナー

Advertisement for Best Choice (有) featuring a car icon, phone number 093-671-3663, and services like car insurance and safety.

Advertisement for Best Choice (有) insurance services, including a quote of 1 yen for management and contact information.

あつたらイね! こんなトコ



金 幸希さん(写真右)と、同じく法人営業課の真左に案内をしていただきました。

「アルモニーサンク」では毎年クリスマスに障害のある方々、特別な配慮が必要な方々へ「THE ONLY CHRISTMAS」というイベントを行っています。昨年で3年目を迎えました。最初の年は十数名ほどで

小倉北区大手町にある「ホテル アルモニーサンク」をご紹介します。今回は、法人営業課マネジャーの菊川 一夫さん(写真右)と、同じく法人営業課の

レストラン アッサンブラージュ

「アルモニーサンク」では毎年クリスマスに障害のある方々、特別な配慮が必要な方々へ「THE ONLY CHRISTMAS」というイベントを行っています。昨年で3年目を迎えました。最初の年は十数名ほどで



事前に館内に慣れるための来館や当日の配慮事項な

気軽に使えるレストラン』そう在りたいと思っています。バリアフリー、スライドドア、多目的トイレ、そしてハートフルなスタッフたちがお待ちしております。何気ないひとときが、きつと特別なひとときになるのでしょうか？

したが、その後、口コミなどで認知度が広がっていき、昨年は70名以上の方々に来てくださり、会場に入りきれなくなつたほどです。『どなたでも



また、障害のある方にと関わってきているスタッフなどもいますので出来る限りのお手伝いをいたします。なお、多目的トイレがロビー1階にしかありませんが、基本的にバリアフリーのフロ

どをスタッフに相談できる事前相談会、食事のアレルギー対応、きざみ食、小刻み、ミキサー食、ペーストなどいろんなシチュエーションに合わせてお食事をご用意できます。視覚に障害のある方にはテーブルに料理を出して、その場でオイルをかけ、その音で楽しんでいただけるコースなども作ります。

HOTEL HARMONIE CINQ
HOTEL HARMONIE CINQ
ホテル アルモニーサンク
〒803-0814
北九州市小倉北区大手町12-3
TEL: 093 (592) 5401
FAX: 093 (592) 5419

ア・宴会場をご用意し、全ての人に楽しんでもらえるよう取り組んでいます。すべての人の「期待」と「来たい」に応えたい。そんな皆様様の「きたい」に寄り添える様にたくさんの素敵な思い出をアルモニーサンクで過ごしていただければうれしいと思っております。と、菊川さんたちはとても熱心にご説明してくださいました。障害のある人もない人も、小さなハートから大きなイベントまで安心しておまかせできるのではないのでしょうか。

広告
Matsushima
Matsushima Measure Tech
株式会社 マツシマ メジャテック
〒807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL https://www.matsushima-m-tech.com
E-mail sales@matsushima-m-tech.com

「計測」×「技術」で世界に向けて

事務局からのお知らせ

☆会員更新のお願い☆

新年度になりました。会員の更新の手続きをお願いします。

◆正会員・年会費

個人/3,000円

団体/4,000円

◆賛助会員・年会費

個人/(一口)3,000円~

団体/(一口)4,000円~

(お一人様何口でも可能です)

*同時に、ボランティア協会と一緒に支えてくださる新規会員さんも大募集しています。

ボランティア登録者の更新 新規登録者☆大募集☆

ボランティアの募集やイベントなどタイムリーな情報を不定期に発信しています。スマホ(携帯電話)かパソコンから、件名に「ボランティア登録希望」、本文に、お名前と電話番号を入力し、下記アドレスまで送信してください。

MAIL:XLZ02133@nifty.ne.jp



詳しくは事務局まで



平成31年度 ボランティア活動保険について

ボランティア活動をされる方は保険加入が必要となります。31年度より北九州市地域福祉振興協会からの助成が無くなりました。ボラ協では手数料込500円で加入代行できますので、活動前にはご加入ください。

○バザー品

柏原やすみ

久門

正子

八幡西区役所保護課

戸畑区身体障害者福祉協会

SKC会計グループ

一般社団法人生命保険協会

あひる小倉南

公文真理亜 高橋 良彰

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

中原 祐子

西村 邦子

谷 良三

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

八幡西区社会福祉協議会

(有)ベスト・チョイス

たかのすクラブ

生き方のデザイン研究所

一丁目の元氣

山本 悦子

協会カレンダー

15日(土)	1日(土)	6月	31日(金)	25日(土)	23日(木)	15日(水)	9日(木)	8日(水)	5月	25日(木)	24日(水)	17日(水)	15日(月)	14日(日)	8日(月)	4月
会報223号発行	北九州市障害福祉団体連絡協議会 定期総会		全日本視覚障害者協議会 第34回福岡大会(協力事業)	第38回定期総会	北九州市障害福祉団体連絡協議会 常任委員会	福祉のまちづくりネットワーク定例会	決算理事会	常任委員会		北九州市障害福祉団体連絡協議会 常任委員会	西部障害者福祉会館運営委員会(竹田)	中間支援組織連絡会(鈴木・船寄)	障害者社会参加推進協議会(竹田)	会報第222号発行	「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈式(竹田)	西南女学院大学福祉学科向けオリエンテーション(酒井)